

だい 第 5 課 か

かみ
神さまはあなたが
まわりの人^{ひと}に、ど
んなたいどをとる
か^き気にされる



かみ
神さまについて、このことをおぼえておきましょう。

かみ
神さまは、親^{おや}が子ども^{こども}のめんどうをみるのを、^{たす}助けて^{くだ}下さい
ます。

かみ
神さまは、あなたが、まわりの人^{ひと}のことを、どう^{おも}思っているか、
し^し知っておられます。

かみ
神さまは、まわりの人^{ひと}に、いじわるをする人^{ひと}に、^{あた}ばつを^{あた}与えら
れます。

かみ
神さまは、あなたが、まわりの人^{ひと}に、しんせつであるように、
のぞ^{のぞ}望んでおられます。

このみことばは、^{せいしよ}聖書に
あります。^{こゑ}声をだして、5
^{かいよ}回^{くだ}読んで下さい。



しかし、カインは^{おとうと}弟^{あへ}アベルに^{ばな}話
しかけた。……^{かれ}彼^{こゝろ}を^{しゆ}殺した。主はカ
インに、「あなたの^{おとうと}弟^{あへ}アベルは、
どこにいるのか。」と^と問われた。

^{そうせいき}創世記 4 : 8、9

できるかな？

正しいと思うことばを、○で囲んで下さい。

1. まわりの人に、いじわるをする人にたいして、神さまは、どうされますか。
わすれる、 しゆくふくする、 ばつを与える。
2. 神さまは、あなたが、まわりの人に、はらをたてているとき、知っておられますか。
はい、 いいえ、 ときどき。
3. だれが、弟を殺しましたか。
アダム、 アベル、 カイン。

答 え

○はい、 いいえ、 ときどき。 ○アダム、 アベル、 カイン。

ことばのお勉強

ささげものとは、人が神さまにあげるもの
のことです。

いけにえは、神さまにささげる生きた動物
です。

しゆくふくするとは、人に何か良いことを
することです。





かみ
神さまは、おや
ニども
のめんどうをみるよう
にたす
く
助けて下さいます。

●から●までの、ぜんぶのこ
ばのしたに、せんをひいてくだ
さい。

アダムとエバには、たくさんニどもがいました。はじめのニど
もはカインでした。2ばんめのニどもは、アベルでした。

カインとアベルが、世界でさいしょのニどもたちで、きょう
だいでした。

アダムとエバは、ニどもをそだてるために、はたら
かなくてはな
りませんでした。

●かみ
神さまは、ふたりのしごとをてつだってくだ
さいました。●

かれらは、種まきをしなくてはなりませんでした。

手いれをし、たべものをあつめました。

かれらは、羊や、やぎをかいました。

それに、ミルクやチーズや、ようふくをつくりました。

●かれらは、みんなのニどもに、しごとを教え
ました。

そして、かれらは、ニどもたちに、

かみ
神さまのことを、教え
ました。●

かみ
神さまは、あなたが
まわりの^{ひと}の人のことを、
どう思^{おも}っているか、
知^しっておられます。

カインは神さまに、じぶ
んが作^{つく}った、たべものをさ
さげました。

アベルも、じぶんの^{つみ}罪の
みがわりに死^しぬ、小羊^{こひつじ}を
ささげました。

●神^{かみ}さまは、カインもアベルも、ふたりとも愛^{あい}していました。●
神^{かみ}さまは、かれらに、どうしたら神^{かみ}さまのもとにこられるかを、
教^{おし}えられました。

カインもアベルがしたように、罪^{つみ}のいけにえをもってくるべ
きでした。

神^{かみ}さまは、アベルをしゆくふくし、罪^{つみ}をゆるして下^{くだ}さいまし
た。



カインは、神^{かみ}さまの言
われることを聞^ききたくあ
りませんでした。

カインは、じぶんの思^{おも}
いどおりに、やりたかつ
たのです。

カインは、神^{かみ}さまが、
アベルをしゆくふくした
ことに、はらをたてまし
た。

カインは、アベルをに
くみました。

神^{かみ}さまは、カインの気^き
もちを、ごぞんじでした。

●神さまは、カインがおこったまままでいたら、何か悪いことをするだろうと思われました。●

神さまは、カインと話しをし、「なぜおこっているのか。」と聞かれました。でも、カインは、神さまの言うことを聞こうとしませんでした。

カインは、弟のアベルをにくみました。

神さまは、まわりの人にいじわるをする人に、ばつを与えられます。

ある日、野はらで、カインは、弟のアベルを殺しました。



それは、おそろしい罪でした。神さまは、カインがしたことを見ておられました。

●神さまは、カインにばつを与えなくてはなりませんでした。●

神さまは、カインが家ぞくといっしょに家にいることを、ゆるされませんでした。カインとカインのおくさんは、出て行って、じぶんたちだけで住みました。

神さまは、あなたが、まわりの人にしんせつであることを、望んでおられます。

ほかの人をにくむことは、罪です。
この人をにくむ罪が、人をきずつけるようになります。



この罪が、言いあらそいや、けんかや、さつじんになっていきます。

罪は人をぶんれつさせます。罪は家ていを、はかいします。

神さまは、私たちの罪をゆるし、私たちをよくしたいのです。

●神さまは、私たちの悪い気もちをとりのぞきたいのです。そして、おたがいが、愛しあうようになってほしいのです。●

そうしたら、私たちは、いつも、幸せでいられるのです。

今までに、ほかの人に、はらをたてたことがありますか。

心の中にある、いかりの気もちをとってくださいと、神さまにおねがいしますか。まわりの人と、もっと仲よくやっていたいですか。

このおいのりをおぼえて下さい。

おいのり

主よ。わたしをカインのように、ならないようにしてください。

まわりの人に、しんせつにできるようにしてください。

わたしの心の中はいかりと、悪いことばをゆるしてください。

そして、わたしを、愛のある、しんせつな、良い人にしてください。



★この本の問題集を出して、第5課のところの、宿題をやりましょう。